

【市からのまとめ】

- ・ 地域の現状について、様々なお話を聞くことができた。
- ・ 公共下水道の整備については、今までの計画では津久井地域で計画区域が 2,500 ヘクタール以上あり、予算が 880 億円以上かかるため、早期に整備を図ることが難しい。
- ・ このため、下水道整備計画の見直しを行い、公共下水道で整備すべき区域と高度処理型合併処理浄化槽で整備すべき区域を定め、6月21日、29日に地域の皆さまへ説明を行った。
- ・ 相模湖町地域で 550 ヘクタールであった下水道整備計画については、そのうちの 221 ヘクタールに 35 ヘクタールを追加した区域を公共下水道で整備し、その他は高度処理型合併処理浄化槽で対応する方向で、今後整備計画を策定する。
- ・ 高度処理型合併処理浄化槽についても市が設置して維持管理するので、公共下水道と同じように考えていただければよい。
- ・ なお、公共下水道には負担金があるので、高度処理型合併処理浄化槽についてもある程度負担を求めていくことになる。
- ・ 今年度、要望があった地区については、いつ整備できるか、改めて微調整するが、市長は 10 年間くらいで何とか整備したいと考えている。
- ・ 測量等で皆さまのご協力をいただく場合には、ご協力をお願いしたい。
- ・ 道路網の整備についてだが、相模湖ピクニックランド前の交差点は広いように感じる。
- ・ 交差点改良については、具体的に進んでいく中で、歩行者の信号の設置についても明らかになってくると思うが、一生懸命対応していきたい。
- ・ 相模湖ピクニックランドの開発構想の計画によっては、県警との協議の中で、開発業者に歩道部分についての負担をしてもらうこともあるので、開発許可の前段で話し合いをしていきたい。
- ・ 物事が大きく動くときには、様々なことが進むと思うので、地元の皆さまの思いを酌んで取り組みたいと思っている。
- ・ また、千木良バイパスの整備についても要望があるので、そういうことも含めて検討していきたい。
- ・ 政令指定都市になった場合、国道 20 号と 16 号の 2 桁国道以外の国道と県道は市の管理になるので、改めて道路整備計画を策定しなければならない。
- ・ 地区ごとにどこを優先するか、配分を決めながら、利用頻度を含めて検討していくと思うので、本日の要望も含めて検討していきたい。
- ・ 相模湖病院前のトイレについては、現場を確認したが、あの状態では使用できない。
- ・ 新磯地区に相模川の芝ざくらが 1.4 キロメートル植えてあり、トイレが 2 箇所設置してあるが、管理は地元の方をお願いしており、夜にいたずらをされないようにシャッターをつけている。
- ・ 石老山のトイレについては、設置場所を含めて今後検討していきたいと思っている。
- ・ 相模湖町地域に市が管理しているトイレが 10 箇所あるので、きれいに使っていただくために管理についても検討していきたい。
- ・ 内郷地区には、ホテルやカタクリの郷、様々な名所旧跡があるが、旧相模原市では、今まで都市型観光で名所旧跡はなかった。
- ・ 今後は、新観光振興計画にもとづき、自然と歴史的な施設を活用した中で取り組んでいくことになる。
- ・ その 1 つとして、相模湖町と藤野町に案内所を整備するため、予算化しているので、皆さまと協

力して検討していきたい。

- 各地から要望があり、皆さまと話し合いをした中で、どれが実現できるか、有効的にできるか、総合的に考えていきたい。
- 市長から、頭の中で考えているのではなく、現場をよく見て、地元の話をよく聞くように言われている。
- 本日は様々な要望をいただいたが、皆さまの話を直接聞き、話し合うことが大切である。
- 小さいことでも一つ一つ皆さまと話し合いを行い、課題を解決していくことが地域の発展につながると思っている。
- この地域に生まれて本当に良かったと言えるようなまちづくりのために、皆さまの気持ちをしっかりと受けとめて、皆さまと頑張っていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。